
砂ぼこり

ROOK IMAZIN

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

砂ぼこり

【Nコード】

N8221P

【作者名】

ROOK IMAZIN

【あらすじ】

前も見えず。自分も見えない。そんな時キミに出会えたんだ。

(前書き)

前半普通に詩です。

最後はハッピーエンドの恋編です。

いつからだろうか？

いつの間にか前を見なくなっていた。

いつの間にか自分を視なくなっていた。

前を見ると真っ暗で何も見えなくなつて。
自分を視ると真っ暗な闇に突き落とされそうで。

いつの間にか逃げていた。

過去から 未来から 現実から

眼を背けていた。

怖かったんだ。

だから逃げた。

前を見ないようにして
自分を視ないようにして

普通にどこにでもある世界を
虚像イメーシして

どこにでもいる人を
想像して

そこに逃げ込んだ。
そこに隠れた。

時がたって……

いつしか小さな星ができて。
いつしか小さな光が瞬またたき始めて

いつしか小さな星の数が増えていつて
いつしか小さかった光が輝きだして

それは大きな輝きとなって
それは僕にとって大切な光ひとになって………

そしたら

僕しんじつの前を明るく照らしてくれて
僕じぶんを明るく照らしてくれて

いつの間にか

前^{しんじつ}をしつかり見れるように

眼^{まなこ}についている砂をとってくれて

自分^{まなこ}をしつかり視れるように

眼を覆っている闇をとってくれて

しつかりと

前^{しんじつ}を見れるようになった。

自分を視れるようになった。

そして前^{しんじつ}を知って

そして自分を知って

やっと今を生きています。

やっと今を楽しんでいます。

それもこれも

全部キミがくれた小さな星^{ひかり}のおかげなんだよ。

(後書き)

『もしもキミに出会わなかったら?』どうなっていただろう?

暗闇に溺れて、真っ逆さまに落ちていって、自分を見失っていたんだろうな。

そしたら、よくて不良。悪くて自殺でも計っていたかな?

そんな想いをもっているオレは、キミに嫌われる方法を模索中だ。ずっと今も探している。

もうすぐ卒業式だからもう逢う機会がなくなる。

そのときに『さよなら』と一緒に嫌いになれる方法を教えてもらおうかな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8221p/>

砂ぼこり

2011年1月3日23時05分発行